

校長室だより

5月

京都市立音羽小学校
校長 藤村 徹

学校教育目標

ひとりひとりが みんなと共に 個性豊かに たくましく生きる子どもの育成

目指す子ども像

- ① 自他を大切にする子ども
- ② 自分の可能性にチャレンジする子ども
- ③ 自ら学ぶ子ども

環境教育の一環として体育館の横にあった池を復活させました。循環装置をつけて流水池になるようにしました。

一番深い池には、鯉やフナをいれ、一番広い池は、ビオトープ(自然の状態)にする予定です。どんな水生生物がやってくるか楽しみです。すぐそばには、昆虫の館を設置しました。蝶やカブトムシの様子が観察できます。また、職員室前に、ホタルの幼虫や音羽川の魚を水槽にいれました。子どもたちに生物の観察を通して自然について考えるきっかけになればと思っています。

この間の朝会で、地球の命について話をしました。子どもたちが大人になったときの地球はどうでしょうか。すばらしい環境であるのでしょうか？このままだと、地球がどんどん暖かくなって、南極や北極の氷がとけ、海の水位が上がったり、台風や大雨に見られるような異常気象がおこったりと、大変なことになってしまいます。子どもたちに未来をたくすためにも、今、私たち大人がしなければならないことがたくさんあると思います。

今年度、いままでおこなってきた環境活動を整理し、再構築して環境について子どもたちと一緒に考え、行動したいと思っています。



雨水タンク



牛乳パック回収

- 学校で行ってきたエコ活動の一つ
- 1 牛乳パックのリサイクル(給食用)
 - 2 雨水タンクの活用
 - 3 家庭の牛乳パック回収

ご協力よろしくお願いします

分別回収、廃油の回収など家庭でできるエコ活動がたくさんあると思います。子どもと一緒に取り組むことができれば素晴らしいですね。